２０２０年度

秋商キャリア教育

◇はじめに　・・・ 1
◇秋田商業高校のキャリア教育について　・・・ 2

Ⅰ　秋商キャリア教育構造図　・・・ 4
　１　商業高校の特徴を活かしたキャリア教育（学年）
　２　〃　（コースと選択科目）

Ⅱ　秋商スタンダード　・・・ 8
　１　全員が身に付ける「生活習慣」・「基礎学力」
　２　全員が取得を目指す「資格」

Ⅲ　秋商キャリア教育（年間計画等）　・・・ 9
　１　検定試験年間受験予定
　２　進路指導とキャリア教育
　３　各教科指導で行うキャリア教育
　４　総合的な学習（探究）の時間とキャリア教育
　５　部活動とキャリア教育

年　組　Ｎｏ	氏名

◇はじめに

秋田商業高校に大志をもって入学してきた生徒たちの将来の指針となるべき基礎的な教育内容を示したものが「秋商キャリア教育」です。

平成２３年度、改めて本校が地域社会や生徒に対して行うべき使命は何か、また現在の進路実績（就職４割、進学６割）を踏まえてキャリア教育を見直しました。

本校は今年度創立１００周年を迎える伝統を誇り、地域社会の中で長く信頼を得ている学校です。卒業生の多くは各界のリーダーとして活躍し、地域の人々や社会をより良い方向に導いています。学習面においては、実社会に対応した商業教育を特色とし、その知識と技術を習得させ、基礎的・基本的な学力を保証しています。部活動においては、日々の鍛錬を重視する気風があり、県内大会の上位を独占し、全国に名を響かせ続けている部が数多くあります。

このことを踏まえ「実学（商業教育）を取り入れた学習と、自ら選択した課外活動（部活動）の両方に取り組む生徒の育成」が本校の使命であると考えました。

次に、「秋商での３年間の学校生活は、いつ頃までその後の人生に影響を与え、青年期のよりよい人格の形成につながるのか」を想定し、入学から卒業後２２歳までの７年間を秋商キャリア教育の期間と決めました。秋商で過ごした３年間を基礎として、大学進学者が卒業する２２歳頃までを「秋商我と共に在り」の心意気で成長をする青年期と考えたからです。

高校在学中は「学習」と「課外活動」を追求させるために一人の生徒が、学業と部活動の二つを、３年間継続し充実させてほしいと願っています。そのためには自分のやるべきことを徹底してやり続ける「凡事徹底」の精神と、その行動の積み重ねが大切です。「凡事徹底」を積み重ねるからこそ、自分の目指している検定試験の合格や大会での勝利、そして目指している進路の実現につながります。

周囲の人たちから守られているという安心感をもって、自分を信じ自分の好きなことに向かい努力を続けてください。

キャリアとは「軌跡」や「通った跡」という意味があります。秋商で過ごした３年間のキャリア教育をもとに自分の目指す仕事に就き、周囲の人々と豊かな人間関係を創り上げながら、最終的には社会に貢献できる人材として活躍してほしいと願っています。

◇　秋田商業高校のキャリア教育について

1 秋商キャリア教育とは

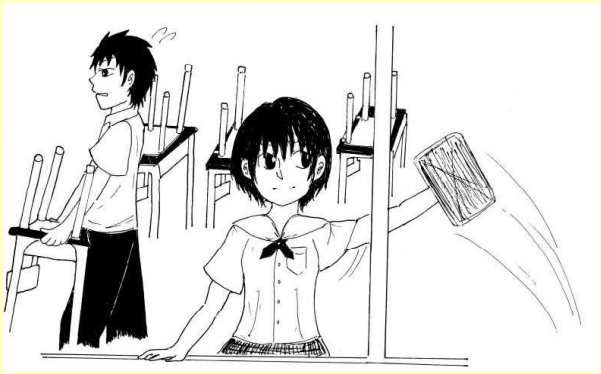
「秋田商業高校に１５歳で入学した生徒の自己実現を７年後まで見すえて、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる教育です」

2 本校で長年商業の授業実践を通して教え、伝え続けてきたこと

会社で求めている人物

１．明朗で好感のもてる人物（魅力ある個性）
２．学校生活を充実して送った人物
３．一般常識や社会常識が豊かな人物
４．広い良識をもち、柔軟な考え方のできる人物
５．人の言うことを正しく理解し、自分の意見を明確に感じよく表現できる人物
６．協調性を持った人物
７．公正な考え方のできる人物
８．責任感のある人物
９．誠実さのある人物
10．積極的に行動し、意欲ある人物

（総合実践室に掲示）



新入社員のタブー十箇条

１．進んで仕事に参加する気構えをもっていない
２．喜怒哀楽をおさえておくことができない
３．仕事上で忠告や注意を受けたり、ミスを指摘されたとき、感情的になる
４．仲間同志ですぐにけんかや口論をする
５．勤務時間中に高い声でおしゃべりをする
６．人のうわさばなしをする
７．人のプライバシーにまで首をつっこんで中傷する
８．私用の長電話をしばしばする
９．退社時間が迫るとサッサと仕事をやめてソワソワする
10．自分の仕事が非常につまらない仕事だと思っている

（総合情報処理室に掲示）

3 キャリアの概念

「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね」の総体。つまり、自分の役割を果たして活動すること（働くこと）を通して、人や社会にかかわることになり、そのかかわり方の違いが「自分らしい生き方」となっていくこと。

4　キャリア教育で育成すべき能力

⇒「４つの基礎的・汎用的能力」

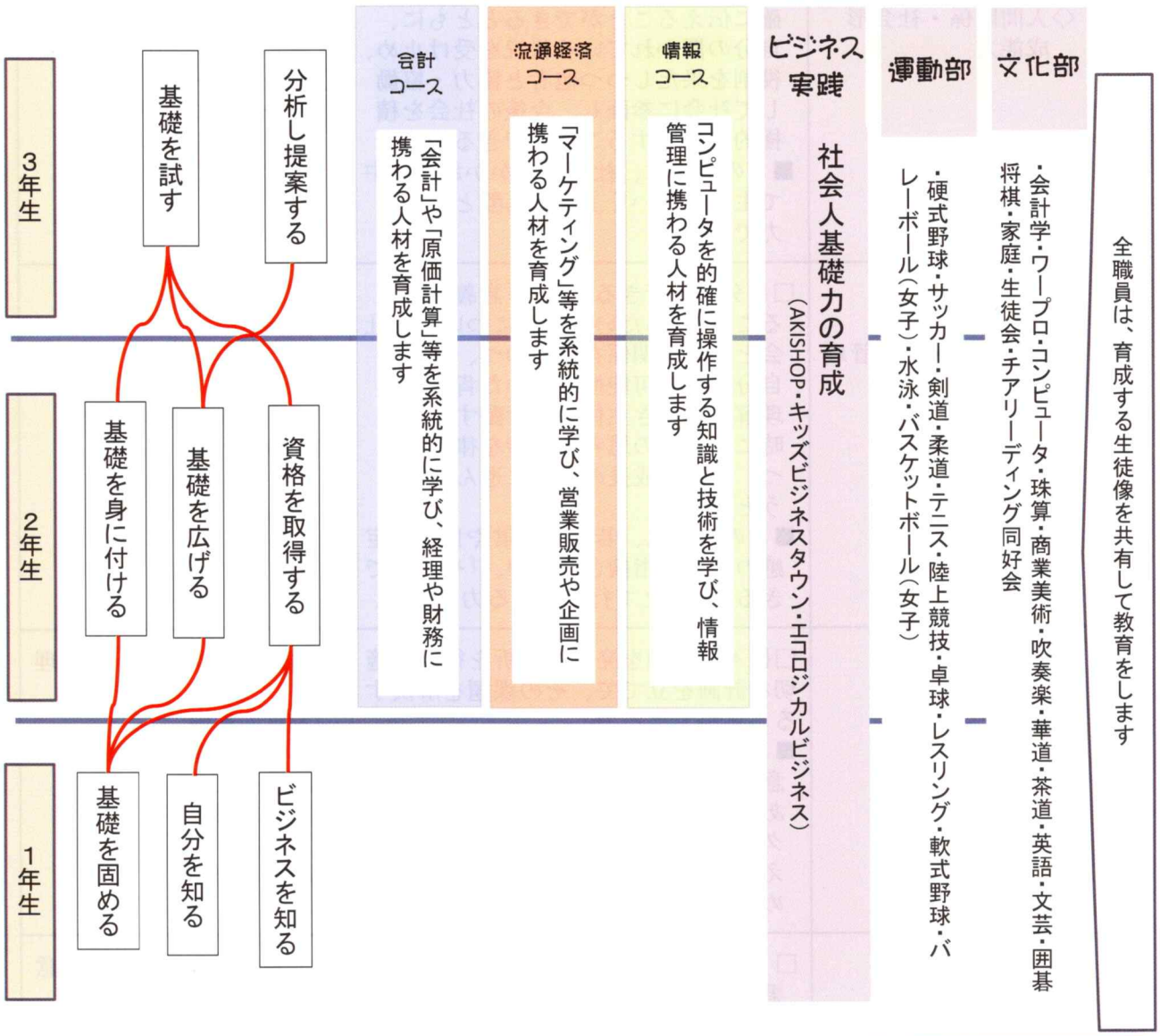
	基礎的・汎用的能力	能力の説明	具体的な要素
1	◇人間関係・社会形成能力	□多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。 ■この能力は、社会とのかかわりの中で生活していく上で、基盤となる能力である。	○他者の個性を理解する力 ○他者に働きかける力 ○コミュニケーション・スキル ○チームワーク ○リーダーシップ
2	◇自己理解・自己管理能力	□自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。 ■この能力は、若者の自信や自己肯定感の低さが指摘される中、「やればできる」と考えて行動できる力である。	○自己の役割の理解 ○前向きに考える力 ○自己の動機付け ○忍耐力 ○ストレスマネジメント ○主体的行動
3	◇課題対応能力	□様々な課題を発見し分析を行い、適切な計画を立てて、その課題を解決することができる力。 ■この能力は、自らが行うべきことに意欲的に取り組む上で必要なものである。また、知識基盤社会の到来やグローバル化等を踏まえ、従来の考え方や方法にとらわれずに物事を進めていくために必要な力である。	○情報の理解・選択・処理等 ○本質の理解 ○原因の追究 ○課題発見 ○計画立案 ○実行力 ○評価・改善
4	◇キャリアプランニング能力	□「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自らキャリアを形成していく力。 ■この能力は、社会人・職業人として生活していくために生涯にわたって必要となる能力である。	○学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 ○多様性の理解 ○将来設計 ○選択 ○行動と改善

「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（平成２３年１月）参考

「秋商キャリア教育」は、
15歳で入学した生徒の**自己実現**を7年後まで見すえて支援する教育です

（合い言葉）
「凡事徹底」を積み重ね、たくましい自分を創る

企業、大学等に対して
生徒の頑張り（学習面、部活動面、生活面）をきちんと伝えます



秋商スタンダードの定着
◆全員が身に付ける「生活習慣」・「基礎学力」　◆全員が取得する「資格」

中学校に対して
①高校の日常を直接見ていただく機会を設けます
②メディア、学校HP等を通して、生徒が活躍している様子を伝えます

Ⅰ－１　商業高校の特徴を活かしたキャリア教育　（学年）

本校は、商業科の単独商業高校です。この特徴を基本に、商業の様々な分野の学習を自分の興味関心や将来のことを考えて、系統的に学べるシステムを作りました。

３年生

基礎を試す　－　普通教科の学習を続け、進路実現のための試験に対応できる応用力を身に付ける。

分析し提案する　－　学んできた知識と技術を活用し、企業情報や地域経済の状況、高度情報化社会の状況などを問題意識をもって分析し、自らの考えや提案を表現する実践力（プレゼンテーション能力）と起業家精神を身に付ける。

２年生

基礎を身に付ける－　各コースの基礎を授業を通して身に付ける。

基礎を広げる　－　普通教科の学習を続け、社会人としての教養と一般常識を身に付け、インターンシップ等で場面に応じた汎用的に使える能力を養う。

資格を取得する　－　各コースごとに示された検定試験などの資格を取得する。

１年生

基礎を固める　－　普通教科の学習を通して、基礎学力を付ける。

自分を知る　－　学校生活・部活動などを通して自分の特性を知り、コミュニケーション能力を養う。

ビジネスを知る　－　商業の学習やビジネス実践基礎講座を通してビジネスを知る。

コース・科目選択について

（選択科目は目安です）

各選択A～Cの中から、1科目を選びます。
選択科目（2年生＝選択A、3年生＝選択Bと選択C）は、それぞれのコースと進路希望をもとに選択をします。

※選択Bの英語表現Ⅱは、英語表現Ⅰ履修者のみ選択可

	就職・専門学校希望			公務員希望		
	2年	3年		2年	3年	
コース名	選択A	選択B	選択C	選択A	選択B	選択C
会計コース 簿記会計に関心のある生徒	一般教養を広げる			試験で使える知識を付ける		
「財務会計Ⅰ」「原価計算」「ビジネス経済」などの科目で企業会計の理論と様々な手法の基礎的・基本的知識と技術を習得する。 3年次には、「財務会計Ⅱ」「管理会計」や「ビジネス実践」において、会計情報を分析し、適切な販売などの諸活動や経営判断ができる情報を表現する実践力を身に付ける。	国語表現 政治・経済 数学A 化学基礎 英語表現Ⅰ	国語表現 英語表現Ⅱ フードデザイン	古典A 地理A 物理基礎 硬筆 英語会話 ビジネス実務	政治・経済 数学A	数学B	地理A
流通経済コース マーケティングを学習し、会社経営に関心のある生徒	一般教養を広げる			試験で使える知識を付ける		
「マーケティング」「経済活動と法」「ビジネス経済」などの科目で企業・商店・地域経済に関するビジネスの諸活動の基礎的・基本的知識と技術を習得する。 3年次には、「広告と販売促進」「総合実践」や「ビジネス実践」において、商品開発などを通して、仲間や外部の方々とコミュニケーションをとり、自らの考えを提案し理解を得る実践力を身に付ける。	国語表現 政治・経済 数学A 化学基礎 英語表現Ⅰ	国語表現 英語表現Ⅱ フードデザイン	古典A 地理A 物理基礎 硬筆 英語会話 ビジネス実務	政治・経済 数学A	数学B	地理A
情報コース コンピュータ関係に関心のある生徒	一般教養を広げる			試験で使える知識を付ける		
「プログラミング」「ビジネス情報」などの科目でコンピュータやネットワーク社会におけるビジネスの諸活動の基礎的・基本的知識と技術を習得する。 3年次には、「ビジネス情報管理」「電子商取引」や「ビジネス実践」などにおいて、理論の学習と実習を通して課題を分析できる力を養い、情報関連ビジネスのスペシャリストとしての実践力を身に付ける。	国語表現 政治・経済 数学A 化学基礎 英語表現Ⅰ	国語表現 英語表現Ⅱ フードデザイン	古典A 地理A 物理基礎 硬筆 英語会話 ビジネス実務	政治・経済 数学A	数学B	地理A

※選択Bの英語表現Ⅱは、英語表現Ⅰ履修者のみ選択可

大学進学希望 国公立・難関私立大学 資格・知識を活かした進学			大学・短大進学希望 基礎基本を学び、特技を活かした進学			看護系進学希望		
2年	3年		2年	3年		2年	3年	
選択A	選択B	選択C	選択A	選択B	選択C	選択A	選択B	選択C
日商簿記2級を活かす 英検(STEP準2級以上、全商1級)を活かす			部活動の成績を活かす			理数系科目を強化する		
国語表現 英語表現Ⅰ	国語表現 英語表現Ⅱ	英語会話	国語表現 英語表現Ⅰ	国語表現 英語表現Ⅱ	古典A 英語会話	数学A 化学基礎	数学B	物理基礎
マーケティング・経済の知識を活かす 全商簿記1級を活かす 英検(STEP準2級以上、全商1級)を活かす			部活動の成績を活かす			理数系科目を強化する		
国語表現 英語表現Ⅰ	国語表現 英語表現Ⅱ	英語会話	国語表現 英語表現Ⅰ	国語表現 英語表現Ⅱ	古典A 英語会話	数学A 化学基礎	数学B	物理基礎
情報関係の資格を活かす 全商簿記1級を活かす 英検(STEP準2級以上、全商1級)を活かす			部活動の成績を活かす			理数系科目を強化する		
数学A 英語表現Ⅰ	数学B 英語表現Ⅱ	物理基礎 英語会話	国語表現 数学A 英語表現Ⅰ	国語表現 数学B 英語表現Ⅱ	古典A 物理基礎 英語会話	数学A 化学基礎	数学B	物理基礎

Ⅱ　秋商スタンダード

1　全員が身に付ける「生活習慣」・「基礎学力」

①秋商生としての誇りを忘れず、心身ともに健全で品位ある生活をする。
②あいさつを大切にし、明朗闊達に生活する。

あなたは将来どのような人になりたいと考えていますか。できるだけ具体的に書いてみましょう。

あなたが身に付けたい基礎学力について、できるだけ具体的に書いてみましょう。

国語：
数学：
英語：
商業：

2　全員が取得を目指す「資格」

「目指す資格」と「取得した資格」

	1年生	2年生	3年生
全員が取得を目指す資格	全商情報処理検定３級 全商情報処理検定２級 簿記検定日商３級 全商商業経済３級	【会計コース】 日商簿記２級 全商簿記実務１級 全商商業経済 ・ビジネス経済Ａ 全商ビジネス文書３・２級 【流通経済コース】 全商商業経済 ・マーケティング ・ビジネス経済Ａ 全商簿記実務検定１級(原計) 【情報コース】 全商情報処理１級・２級 全商簿記実務検定１級	【会計コース】 全商会計実務 【情報コース】 日検ホームページ作成 日検プレゼンテーション作成
自分が目指す検定			
取得した検定			

Ⅲ　秋商キャリア教育（年間計画等）

1　検定試験年間受験予定（2020年度）

空白は希望者が受験できます

月	日	検定名	1年生	2年生			3年生		
				会計コース	流通経済コース	情報コース	会計コース	流通経済コース	情報コース
5月	29(金)	STEP英検(1次)							
6月	14(日)	日商簿記					不合格者再受験		
	19(金)	漢字検定							
	21(日)	全商珠算電卓							
	28(日)	全商簿記		発展原価計算受験	発展原価計算受験	発展原価計算受験			
7月	5(日)	STEP英検(2次)	1次合格者	1次合格者	1次合格者	1次合格者	1次合格者	1次合格者	1次合格者
		全商ビジネス文書		2級全員受験					
		日検文書デザイン 日検ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ							PP1級全員受験
	11(土)	日商販売士							
	12(日)	日検情報処理 日検ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ							
9月	6(日)	全商英語							
	27(日)	全商情報処理	3級全員受験			ビ情1級全員受験 不合格者再受験			
10月	2(金)	STEP英検(1次)							
	11(日)	日検各種検定試験							
	25(日)	全商会計実務					全員受験		
11月	8(日)	STEP英検(2次)	1次合格者	1次合格者	1次合格者	1次合格者	1次合格者	1次合格者	1次合格者
		全商珠算電卓							
	15(日)	日商簿記	3級全員受験	2級全員受験					
	22(日)	全商ビジネス文書							
12月	6(日)	日検文書デザイン 日検ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ							
	13(日)	日検情報処理 日検ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ							HP1級全員受験
	20(日)	全商英語							
1月	22(金)	STEP英検(1次)							
	24(日)	全商簿記		発展会計受験 標準原価計算受験	発展会計受験	発展会計受験 標準原計受験			
	31(日)	全商情報処理	2級全員受験			プロ2級全員受験 不合格者再受験			
2月	7(日)	全商商業経済	3級全員受験	ビジネス経済全員受験	ビジ経済・マーケ全員受験				
	17(水)	日商販売士							
	21(日)	日検文書デザイン 日検ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ							
		STEP英検(2次)	1次合格者	1次合格者	1次合格者	1次合格者	1次合格者	1次合格者	1次合格者
	28(日)	日商簿記	不合格者(3級)再受験	不合格者再受験					
		日検情報処理 日検ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ							

Ⅲ-2 進路指導とキャリア教育（1学年）

君たちに望むこと　**基礎になる学力を身に付け、自分の個性や学習の成果を生かす進路について考えよう**

A：挨拶、礼儀や人の話を聴き理解する力
B：自分の能力や適性を理解し、伸ばそうと努力すること
C：自分に対する課題を設定したり見つけ、それを解決する力
D：将来の自分をイメージし、その実現に向けて取り組む力

学期	進路指導関係行事		第1目標	第2目標	第3目標
	行事名	ねらい			
1学期	実力診断テスト①(4/10)	中学校までの自分の実力を把握し、今後の学習目標を立てよう。	B	C	D
	中間考査(5/12～15)	考査の心得を理解するとともに、テスト対策を計画的に行おう。	C	B	A
	「進路の手引き」説明会	本校の進路状況の確認と進路に対する心構えを確認しよう。	D	B	C
	学年ＰＴＡ	資料を元に、進路について保護者と情報を共有しよう。	D	B	A
	進路希望調査①	自分の進路について考えを深め、期限を守って調査用紙を提出しよう。	D	B	C
	期末考査（6/30～7/3）	授業態度や提出物の状況を振りかえるとともに、テスト対策に計画的に取り組もう。	C	B	A
（反省と課題）					
2学期	実力診断テスト②(8/24)	１学期の学習が定着しているか検証し、今後の目標を立てよう。	B	C	D
	コース選択説明	コースの特徴を理解し、進路先に合わせたコースを選択しよう。	A	D	C
	中間考査(10/6～9)	評定の基準を理解するとともに、テスト対策に計画的に取り組もう。	C	B	A
	小論文講演会・模試①	小論文の書き方を学び、専門家からアドバイスをもらおう。	A	C	B
	進路希望調査② コース・科目選択	希望する職種や学校名を具体的に決め、進路に合ったコース・科目を選択しよう。	D	B	C
	就職支援講座	働くことの意味を考えるとともに、社会人に必要な能力について学ぼう。	A	D	C
	職業適性検査	自分の性格や特性に合った職業を発見しよう。	D	B	C
	期末考査（11/30～12/3）	各科目で目標点数を設定し、テスト対策に計画的に取り組もう。	C	B	A
（反省と課題）					
3学期	実力診断テスト③(1/15)	これまでの学習が定着しているか検証し、今後の目標を立てよう。	B	C	D
	企業講話	将来の職業選択に目を向けよう。	D	A	B
	学年末考査（2/22～26）	１年間の学習への取り組みを振りかえり、自分に適した効果的な学習方法を確立しよう。	C	B	A
（目標の達成感）					

各目標をABCDで示しています。各行事でその目標の達成程度を◎・○・△で記録しましょう。

標記の方法　（良く出来た ◎ 普通 ○ もう少し △ ）

2 進路指導とキャリア教育（2学年）

君たちに望むこと　**自らを見つめ、進路実現のための課題を探究し実践しよう**

A:挨拶、礼儀や人の話を聴き理解する力
B:自分の能力や適性を理解し、伸ばそうと努力すること
C:自分に対する課題を設定したり見つけ、それを解決する力
D:将来の自分をイメージし、その実現に向けて取り組む力

学期	進路指導関係行事		第1目標	第2目標	第3目標
	行事名	ねらい			
1学期	基礎力診断テスト①(4/7)	１年次までの自分の実力を把握し、今後の学習目標を立てよう。	B	C	D
	学年ＰＴＡ	資料を元に、進路について保護者と情報を共有しよう。	D	B	A
	中間考査(5/12～15)	考査の心得を再確認するとともに、テスト対策を計画的に行おう。	C	B	A
	「進路の手引き」説明会	希望する進路について学び、実現に向けてやるべきことを考えよう。	D	A	B
	小論文模試①	履歴書や志望理由書を書くために必要な文章を書く能力を身に付けよう。	B	C	D
	進路希望調査①	進路について保護者と話し合い、共通理解を深めよう。	D	C	B
	科目選択調査	希望する進路と合わせて考え、期限を守って調査用紙を提出しよう。	D	B	C
	期末考査（6/30～7/3）	授業態度や提出物の状況を振りかえるとともに、テスト対策に計画的に取り組もう。	C	B	A
（反省と課題）					
2学期	基礎力診断テスト②(8/24)	１学期の学習が定着しているか検証し、今後の目標を立てよう。	B	C	D
	インターンシップ事前指導	職業に対する意識やマナーを向上させよう。	A	D	C
	インターンシップ	就労体験をとおして働くことへの理解を深めよう。	D	C	B
	中間考査(10/6～9)	テスト対策に計画的に取り組もう。	C	B	A
	ビジネス実践	中堅学年として行事の成功に力を尽くそう。	A	B	C
	進路希望調査②	希望する職種や学費などについて話し合い、今後の計画を立てよう。	D	C	B
	就職支援講座	働くことに対してビジョンを持ち、社会人に必要な能力について学ぼう。	D	A	C
	期末考査（11/30～12/3）	授業態度や提出物の状況を振りかえるとともに、テスト対策に計画的に取り組もう。	C	B	A
（反省と課題）					
3学期	実力診断テスト③(1/15)	これまでの学習が定着しているか検証し、今後の目標を立てよう。	B	C	D
	三者面談	進路希望を確定させ３年次のスタートをスムーズに切れるようにしよう。	D	B	A
	小論文模試②	１回目の模試での反省点を生かして文章力・表現力を高めよう。	B	C	D
	進路ガイダンス・面接指導	３年次に何をすればよいか、具体的な進路計画を明確にしよう。	D	C	B
	学年末考査（2/22～26）	１年間の学習への取り組みを振りかえるとともに、テスト対策に計画的に取り組もう。	C	B	A
（目標の達成感）					

各目標をABCDで示しています。各行事でその目標の達成程度を◎・○・△で記録しましょう。

標記の方法　（良く出来た ◎A　普通 ○A　もう少し △A　）

2　進路指導とキャリア教育（３学年）

君たちに望むこと　**自分の可能性を引き出し、最適な進路を実現しよう**

A：挨拶、礼儀や人の話を聴き理解する力
B：自分の能力や適性を理解し、伸ばそうと努力すること
C：自分に対する課題を設定したり見つけ、それを解決する力
D：将来の自分をイメージし、その実現に向けて取り組む力

学期	進路指導関係行事		第1目標	第2目標	第3目標
	行事名	ねらい			
1学期	学年集会（4/9）	年間の進路計画について確認しよう。	A	D	B
	個人面談	進路について担任と共通理解を図ろう。	A	D	C
	学年ＰＴＡ	資料を見て「やるべきこと」を確認しよう。	D	B	C
	進路希望調査	具体的な進路を決定しよう。	D	B	C
	中間考査(5/12～15)	テスト対策に計画的に取り組もう。	B	D	C
	進路別模試(6/5)	自分の実力を認識し、今後の目標を立てよう。	C	B	A
	進路の手引き説明会(6/19)	進路の日程や提出書類を確認しよう。	C	D	B
	期末考査（6/30～7/3）	テスト対策に計画的に取り組もう。	C	B	A
（課題と反省）					
2学期	進路別模試(8/21)	自分の実力を把握し、実際の試験に備えよう。	A	D	B
	応募・出願書類準備	スケジュールを確認し、丁寧に記入しよう。	D	B	A
	面接練習（随時）	自ら計画を立て、主体的に取り組もう。	C	A	B
	中間考査（10/6～9）	テスト対策に計画的に取り組もう。	C	B	A
	主権者教育	主権者としての意識を深めよう。	D	C	B
	期末考査（11/30～12/3）	テスト対策に計画的に取り組もう。	C	B	A
（課題と反省）					
3学期	消費者教育	消費者に関するいろいろな問題を理解しよう。	A	D	B
	租税教室	納税について学び、社会人としての心構えをもとう。	A	D	B
	学年末考査（1/25～29）	３年間の学習の締めくくりをしよう。	C	B	A
（目標の達成感）					

各目標をABCDで示しています。各行事でその目標の達成程度を◎・○・△で記録しましょう。
標記の方法　（良く出来た ◎A　普通 ○A　もう少し △A ）

３　各教科指導を通して行うキャリア教育

授業の中で、社会に出てから必要な力の基礎を身に付けます。

	人間関係 ・社会形成能力	自己理解 ・自己管理能力	課題対応能力	キャリア プランニング能力
国語科	他者の意見を読み聞きして的確に理解し、自らの考えを明らかにして適切に表現し、伝える力を育てる。	意見を発表し合い相互に評価することにより、自分と他者の立場や価値を見出させる。	自学習慣を確立し、予習によって課題を発見し、授業において分析・解決し復習によって知識・理解の定着を図る。	よりよい社会生活を営むために、本や新聞を読む習慣を身に付ける。また、情報を取捨選択し、活用する力を育てる。
地歴公民科	わが国と多様な世界の歴史的過程を学び、良識ある社会人としての基本的な知識を身に付けることで、「多様な立場の人間を理解し協働して社会を形成していく能力」を育成する。		資料を読み取り、原因－結果を探求する歴史的思考力を培うことで、「主体的な課題解決能力」を身に付けさせる。	優れた先人の業績を学ぶことで、困難を乗り越える「生きる力」を身に付けさせる。
数学科	グループ学習を通して課題学習に取り組み、これまで学んだ知識を活用しながら、コミュニケーション・スキルを向上させ問題を解決する能力を身に付けさせる。		数学を学ぶことの意義を学んだり、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるように努め課題解決能力を身に付けさせる。	
理科	自然の事物や現象についての学習を通して科学的な自然観を身に付け、日常生活や社会との関わりを理解するとともに、人間の存在や自己の在り方についての深化を図る。		グループ学習による実験や観察を通してコミュニケーション能力を高めるとともに、自然に対する関心や探求心を高め、課題解決能力の向上を図る。	

	人間関係 ・社会形成能力	自己理解 ・自己管理能力	課題対応能力	キャリア プランニング能力
保健体育科	武道を通して礼儀作法や相手を尊重する態度を育てるとともに、球技ではチーム・集団における自分の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをしようとする姿勢を身に付けさせる。		自分の学習活動を振り返り、課題や成果について自己評価を行い、新しい課題に向かって学習しようとする課題解決能力と探求心を育てる。	
芸術科	演奏や作品制作の活動を通して自己表現の能力を高め、他者とコミュニケーションしながら活動する態度を身に付けさせる。	さまざまなジャンルの音楽及び書道の作品に触れることで、日本の芸術の歴史的価値を理解するとともに、他の国々の芸術文化を感受し、理解を深める態度を養う。		
英語科	身近な事柄について英語でコミュニケーションを図る力を身に付けさせる。	英語で自己表現することを通して自己理解を深め、主体的、積極的に行動する態度を養う。	英語学習を通して国や文化の異なる人々とも積極的に交流し意見を交わす態度を養うとともに、情報を取捨選択する能力を養う。	
家庭科	一生を通じて自分が他者と関わりながら生きていることに気づかせ、感謝の心や思いやりの心をもたせる。	体験的な学習を通して、成就感や達成感をもたせ、前向きに努力しようとする姿勢を養う。	家庭生活の充実向上のために、必要な情報を収集しながら計画を立て、実践しようとする姿勢を養う。	家庭生活における課題を解決するために必要な人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を身に付けさせ、自分自身の人生観と生活観を考えさせる。
商業科	体験的な学習、グループ学習などを通して、他者の考えを理解し、相手に対して自分の考えを正確に伝える態度と能力を身に付けさせる。	ビジネスの意義や役割を学習することで、自分自身の可能性を肯定的に捉えさせ、働くことへの意欲を持たせる。	ビジネスの諸活動を主体的、合理的に考える力を養い、倫理観をもって課題解決にのぞむ態度と能力を育成する。	

各教科（科目）の学習を通して身に付けたことを振り返ってみましょう。

教科(科目)	どのような学習をしましたか（何を身に付けましたか)

４　総合的な学習・探究の時間とキャリア教育

総合的な学習・探求の時間を「ビジネス実践」として行い、①自分と仲間、②自分たちと学校外の人たち、③自分たちと自然の3つのつながりを大切にしながら、3年間で前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力などの「社会人基礎力」を身につけることをねらいとして活動しています。

将来の職業人（社会人）は、規範意識や倫理観をもつこと、技術の進展や環境の変化に対応した柔軟な思考をもつこと、そして各産業での知識委や技術が求められます。

秋商ビジネス実践の取組

課題

商業高校の学習は、知識と技術の習得が中心である。
学校外で体験的な学習をする機会が少ない。
変化の激しい社会を生きるための基礎力を養うことができるのか。

仮説

ビジネスを実践する学習を行う。
そのことで将来の社会人となる基礎力が身に付くのではないか。

実践内容

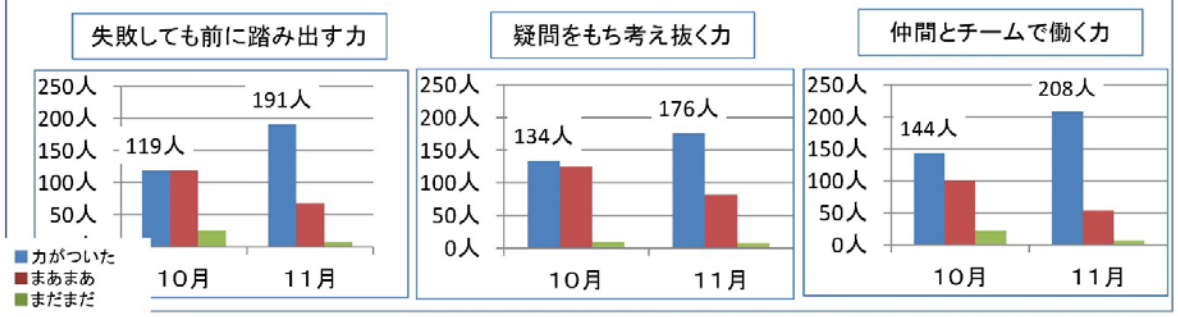
学校を会社組織にして、ビジネス実践をする

総合的な学習の時間（35時間）

活動のねらい	何を考え、どのような体験をするのか	広がり
AKISHOP		
・菓子や惣菜などのオリジナル商品を開発し、販売する	①消費者ニーズを探るため市場調査をする ②開発商品の企画書を作り、企業にプレゼンをする ③AKISHOPで販売する	市役所 菓子店 食品販売店など
キッズビジネスタウン		
・模擬的な社会を作る ・小学生に金融教育を教える	①模擬社会の仕組みを学習して作る ②小学生が働く会社を企画する ③高校生は店長、小学生は従業員として働く	小学校 警察・消防署 食品販売店など
エコロジカルビジネス（H24までは、ユネスコスクール）		
・持続発展教育をもとに、地球環境問題を考える ・ネパールスタディツアーなどの海外研修をする	①経済活動から世界との関係を考える ②「貿易ゲーム」などの各種ワークショップに参加する ③環境講座で地球環境問題を体感する	RASICA・JICA 大学・中学校など

結論

・生徒は、社会人としての基礎力がついたと感じている（■の割合が、すべての項目で増加している）
・教職員と生徒が組織的に活動し、地域社会に認められ11年間継続して実践できた



ビジネス実践の活動内容（２０２０年度）

<table>
<tr><th>予定</th><th>１年生
（ビジネス実践基礎講座）</th><th>２・３年生
（キッズビジネスタウン）</th><th>２・３年生
（エコロジカルビジネス）</th><th>２・３年生
（ＡＫＩＳＨＯＰ）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">4月</td><td>ガイダンス</td><td>ガイダンス
（班長・副班長決め）</td><td>ガイダンス
（班長・副班長決め）</td><td>ガイダンス
（班長・副班長決め）</td></tr>
<tr><td>バナナボートについて知る</td><td rowspan="2">社会・経済の仕組みを学習</td><td rowspan="2">環境保護に関する学習</td><td rowspan="2">秋田の特産物
消費者動向の調査</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5月</td><td rowspan="2">バナナボート考案</td></tr>
<tr><td rowspan="2">店舗模索</td><td>環境保護に関する学習</td><td>連携企業への挨拶</td></tr>
<tr><td rowspan="3">６月</td><td rowspan="2">秋田について知る</td><td rowspan="2">環境保護に関する学習</td><td rowspan="2">企画書の作成
商品開発・企業交渉</td></tr>
<tr><td rowspan="3">連携企業の決定
各店舗の仕事内容決定</td></tr>
<tr><td rowspan="3">7月</td><td rowspan="4">ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞｺﾝﾃｽﾄの
ポスター作成</td><td rowspan="3">環境保護に関する学習</td><td rowspan="3">商品開発・企業交渉
試作品の受け取り
試作品の写真撮影</td></tr>
<tr><td rowspan="3">求人票・シナリオの作成</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8月</td><td rowspan="5">環境保護に関する学習</td></tr>
<tr><td rowspan="4">９月</td><td>クラス発表会</td></tr>
<tr><td>AKISHOPの学習
ｴｺﾛｼﾞｶﾙﾋﾞｼﾞﾈｽの学習</td><td>仕事内容の詳細話し合い</td><td>チラシデータの校正
商品名・価格の最終確認</td></tr>
<tr><td>キッズビジネスタウンの説明</td><td>仕事内容の詳細決定</td></tr>
<tr><td rowspan="2">キッズビジネスタウンへの
参加・準備</td><td>材料・物品の調達、製造
保健所への届け出</td><td>必要物品の届け出締切
チラシの完成
配付活動開始</td></tr>
<tr><td rowspan="3">１０月</td><td>１年生との打合せ
店舗ごとの活動
１年生への指導</td><td rowspan="2">環境保護に関する学習のまとめ
ＡＫＩＳＨＯＰに向けた準備</td><td>ＡＫＩＳＨＯＰに向けた準備
（POPの作成・ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ考案）</td></tr>
<tr><td colspan="2">キッズビジネスタウンに向けた準備</td><td>ＡＫＩＳＨＯＰに向けた準備</td></tr>
<tr><td colspan="2">キッズビジネスタウンの運営</td><td colspan="2">ＡＫＩＳＨＯＰの運営</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">後片付け・会計処理</td></tr>
<tr><td>11月</td><td colspan="4">今年度の活動の振り返り</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">ビジネス実践最終報告会</td></tr>
</table>

5　部活動とキャリア教育

本校は全員が部活動（学校外のクラブ活動も含む）に所属することを原則にしています。

その部活動を通して身に付けてほしいキャリアの各能力があります。大会の成績や勝敗だけにこだわらず、自分自身の成長につながる活動をしましょう。

＜人間関係・社会形成能力＞

先輩や後輩と同じ目標に向かって行動することで、自分の役割を理解し、協力・協働することができる。

＜自己理解・自己管理能力＞

技術を磨き、自己を探求・表現することで、常に向上していこうとする精神を育む。

成功体験・失敗体験を積むことで、今後の目標を自分で定める。また、困難を克服していく「精神的な耐性」を強めることができる。

＜キャリアプランニング能力＞

生涯にわたって「働く」ための行動体力を身に付け、またスポーツや文化・芸術を通し、社会貢献および社会形成に携わっていくことができる。

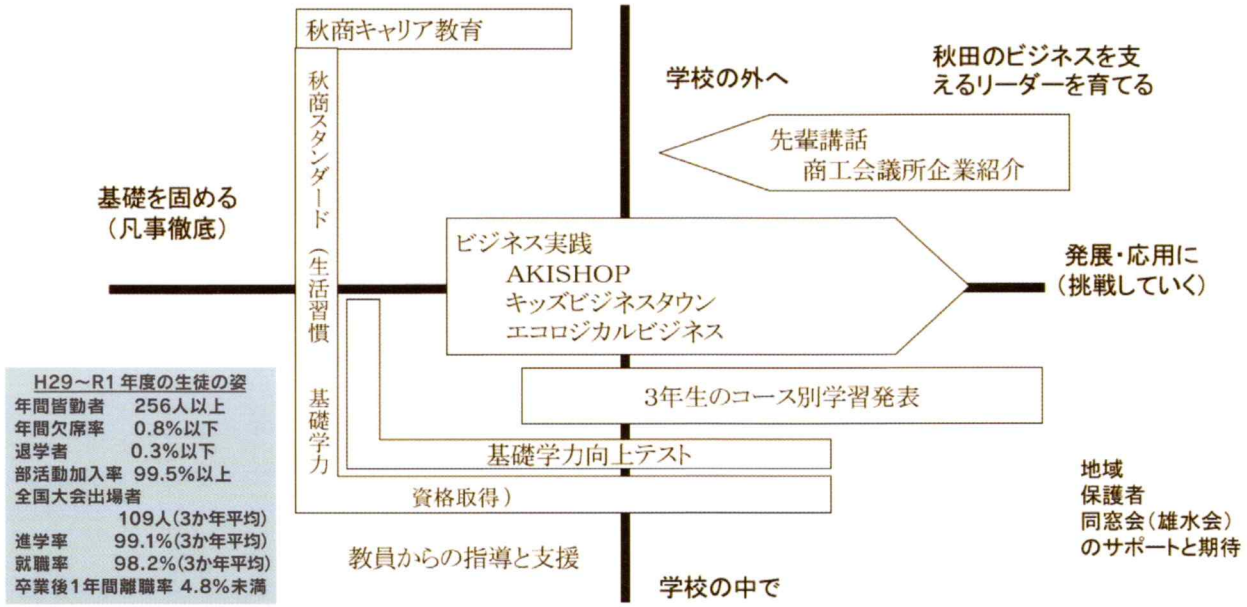
部活動の体験を通して身に付けたことを振り返ってみましょう。

所属の部活動	自分の役割	活動を通して考えたこと 身に付けたこと
	----------	----------
	----------	----------
	----------	----------
	----------	----------
	----------	----------
	----------	----------

（イラスト作成　相澤美緒・斎藤桃佳）

生徒は学習と部活動の両立を目指しており、本校の教員は日々の学校生活の中で学習指導・生徒指導・進路指導を大切にし、生徒の基礎をしっかりと固めようとしている。これが本校の基盤である。その成果は生徒の姿に表れている。

秋田商業高校の教育の特色



H29～R1年度の生徒の姿	
年間皆勤者	256人以上
年間欠席率	0.8%以下
退学者	0.3%以下
部活動加入率	99.5%以上
全国大会出場者	109人(3か年平均)
進学率	99.1%(3か年平均)
就職率	98.2%(3か年平均)
卒業後1年間離職率	4.8%未満

横軸の考え方は、１時間１時間の授業を大切にする「凡事徹底」の延長線上に学習の発展や応用があり、新しいことに挑戦していく気概が生まれてくる方向である。

縦軸は、学校の中で行うことと学校外への広がりを求めていくことを分けて、地域・保護者・同窓生などのサポートを受けながら、将来の秋田のビジネスを支えるリーダーを育成していく方向である。